

**本人や家族だけでなく社会にも働きかけ、
トータルで生活を支える。**



橋本怜さん(1983年生まれ)

掛川西高校 出身
聖隸クリストファー大学 社会福祉学部社会福祉学科卒業

なるためには

- 必要資格 / 精神保健福祉士
- 主な進路 / 高校卒業→精神保健福祉士養成課程のある大学に進学→国家試験に合格し、精神保健福祉士資格を取得→医療機関や福祉施設に就職

こひつじ診療所

袋井市山崎 5902-185
www.denmark-bokujyo.or.jp/shisetsu003/

現在は1歳児から20歳未満の患者さんが主に通う、精神科診療所
こひつじ診療所で精神保健福祉士

仕事について

現在は1歳児から20歳未満の患者さんの傾向を客観的に知り把握しておきました。自分の感じ方、考え方の傾向を客観的に知り把握しておきました。働くなかで、人援助職として大事なことだと改めて実感しています

——やりがい

——やりがい

18歳
↓
22歳

直接対象者と関わって支えられる仕事を志し、聖隸クリストファー大学に進学。

↓
40歳

大学での学びを通して、福祉の基礎や自己覚知などを学ぶ。
こひつじ診療所に勤務。患者さんの背景もしっかり考え、親身に寄り添う。

最初に受診した5歳の児童が、今は20歳くらいに成長しています。運転免許をとつて自分で予約して通院してきたり、頑張っている姿を聞いて温度感を把握し、親御さんとの接し方を考えます

——学生時代

「高校生のとき、母方の伯父が病気で亡くなってしまったのですが、残された家族に何もしてあげられない無力感をずっと引きずっていました。進路を迷っている時期に、聖隸クリストファー大学の社会福祉学部が開学するというパンフレットを見て、ソーシャルワーカーに興味をもったのが進学先を選んだきっかけです。対象となる方と関わりながら支援ができるし、私がやりたかった仕事はこれだと思いました」

「大学時代について教えてください。」

「1年次は、福祉の歴史や法律など福祉の基礎を学びました。2年次からは社会福祉専攻(当時)を選択。様々な事例とともに患者役と支援者役を学生で設定して、どういうケニアができるのかをロールプレイで学びました。4年次の精神保健福祉実習も印象に残っています。面接に同席させてもらったり、患者さんと一緒に時間を過ごさせてもらったりするなかで、実習生という立場でしたが患者さんとの距離感の作り方が勉強になりました。大学では『自己覚知』について手厚く指導していただきました。自分の感じ方、考え方の傾向を客観的に知り把握しておきました。働くなかで、人援助職として大事なことだと改めて実感しています」

——メツセージ

「養成課程のある大学に進学し、国際試験に合格すると精神保健福祉士として働くことができます。聖隸クリストファー大学は、教員と生徒の距離が近く、在学中も卒業後もいろいろな相談にのつてもらっています。同じ目標をもった仲間の存在として働いています。自閉スペクトラム症等を含む神経発達症(発達障害)などで通院している児童が日常生活を送りやすくなるように、本人や家族だけでなく、園や学校、行政などの社会にも働きかけてトータルでサポートしていく仕事です」

「大切なのは、親身になって話を聞くこと。『寄り添うことが仕事なんだよ』とよく大学でも言われました。あとは、目の前で見えているものだけでなく、児童の背景も考えるようになります。親御さんが相談の電話をするまでにどれだけつらかったのか想像したり、家や園の様子、睡眠や食事の状況、心配事などを聞いて温度感を把握し、親御さんとの接し方を考えます」

——心がけていることは?

「大切なのは、親身になって話を聞くこと。『寄り添うことが仕事なんだよ』とよく大学でも言われました。あとは、目の前で見えているものだけでなく、児童の背景も考えるようになります。親御さんが相談の電話をするまでにどれだけつらかったのか想像したり、家や園の様子、睡眠や食事の状況、心配事などを聞いて温度感を把握し、親御さんとの接し方を考えます」



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



楽器製造を通して、
みなさんのこころを豊かに。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→楽器製造をおこなう企業に入社→ピアノの検品をおこなう

一仕事について

「最初の研修では、安全や作業内容について学びます。各工場を回り、どのようなものを製造しているのかを見学しました。研修後に配属されたのは、ピアノ生産部木工塗装グループです。木材に塗装されたピアノのパーツが前工程から送られてくるので、ベルトサンダーや紙やすりで外装を研磨してきれいに仕上げる作業をおこないました」

「現在は、アップライトピアノの上位機種を専門としている」と、さすがに自信満々の姿勢だ。

すね。テレビでもミニコンサートやマハのピアノを演奏している光景をよく見るのでやりがいを感じます。これからは、研削工程の経験も積み、「研削」「研磨」「検品」3つともすべての製造工程で一流の仕事をていきます。

やりがい

の組立工程へ送ります。検品作業は、目で見て、手で触つておかないままであります。ライトで照らして見ることもあります。最初はOKとNGの判断基準がわからないこともあります。また、ひたすら先輩に聞いて覚えていきました。長年の経験が重要な仕事だと思います」

——やりがい

「ピアノは、小中高生にとって学校にある身近なもので、今はだれでも自由に弾けるピアノも街中にあり

鈴木与晴 さん(2002年生まれ)
小笠高校 出身

ヤマハ株式会社 掛川工場

掛川市領家1480
<https://www.yamaha.com/>

「高校時代の思い出は陸上部の活動です。もともと足が遅くて3年までなかなか記録が伸びなかつたのですが、がむしゃらに頑張った結果、最後の最後に記録が伸びました。あきらめずに継続することの大切さを学ぶことができました」



「音楽が好きという気持ちがある人に向いていると思いますし、モノづくりが好きという側面でも良いと思います。楽器が演奏できるできないに關係なく、さまざまな角度からこの仕事に興味をもつてもらえたうれしいです。高校時代は、部活や勉強など、何かに打ち込めるものを見つけてください。やりたいと思つたら、すぐ行動することが大事です。あとは、友達とたくさん遊ぶことです。交友関係は社会に出てからも続くと思います。貴重な3年間を有意義に過ごしてください!」
ありがとうございました。



18歳 部活に励んだ高校時代。継続することの大切さを実感する。

19歳 ヤマハに就職。ピアノ生産部木工塗装グループに配属される。

21歳 ピアノパーツの検品を担当し、きれい
で高品質な楽器製造を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



**市民のみなさんが
安心安全に生活できる環境を整える。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な道場 / 高校卒業→大学に進学→公務員試験対策講座を受講→各自治体が実施する採用試験に合格→市役所に入庁→道路河川課に配属

山田 海津樹 さん(2000年生まれ)

袋井高校 出身
愛知学院大学 文学部卒業

磐田市役所

磐田市国府台3-1
<https://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

—学生時代

「高校時代は、部活の思い出が多いですね。テニス部に所属し、部活が楽しみで毎日学校に通っていた気がします。学校行事にも友達と楽しく取り組みました。日本文化を学びたいという思いと、県外に出てひとり暮らしをしたいという思いがあり、愛知学院大学の日本文化学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「民俗や思想についても学びましたし、日本語や日本古典文学の講義もありました。そのなかで得た気づきとしては、日本人として日本に住んでいるのに知らないことがいっぱいあるということ。特に日本語の『ことば』についての勉強は、新しい気づきがあつて新鮮でした」

就職活動について教えてください。

「地元が好きだったので、大学卒業後は、静岡に帰ろうと思っていました。転勤をしたくないという思いもあり、私がめざしたのは市役所職員。大学が実施している公務員試験対策講座はすべて受けました。筆記試験対策、面接練習、作文練習などができるので受講してよかったです。大学卒業後は、磐田市役所で働きはじめました」

—仕事について

「入庁後は社会人としてのマナーなどを学ぶ研修があり、私は道路河川課に配属されました。大切なのは、市役所全体で市民のために働くという意識。市民とのつながりを深め



「ていき、豊かな生活を支えることが私たち市役所職員の仕事だと感じています」

仕事内容を簡単に教えてください。

「静岡県は海に面しており、地震や災害の不安もあると思うので、市民のみなさんが安心安全に生活できるようにインフラ整備をおこなっています。市が運営している道路や河川、排水路、施設の管理が主な仕事です。道路が悪くなっているところや新しく道路を作る必要のある場所があれば、土木知識をもつた技術者が協力業者さんと打ち合わせをして修繕や工事を進めていきます」

の仕事を担当しています」

「道路を直してほしいという要望を受けて、対応後に『ありがとうございます』とうございました」というお電話をいただきました」というお電話をいたしました。この声がやりがいです。1年目の今は、事務仕事が中心ですが、今後は市民のニーズを直接聞いて、その声を反映させるような仕事をしていきたいです」

—メッセージ

「大学が実施する公務員試験対策を受けておくと心強いですよ。小論文やグループディスカッションがあつたりと、受ける自治体によって試験内容が違うので下調べも重要です。それに合わせた対策をしてください。高校時代は、熱中できるものをひとつ見つけてほしいです。私は、それを部活でした。友達と一緒に遊びることでも、勉強でも学校行事でも何でもいいです。それがあるだけで、充実した3年間を過ごすことができると思いますよ!」

「お忙しいところ、ありがとうございます」といいました。



18歳

部活や学校行事を通して、楽しい高校生活を送る。

↓
22歳

愛知学院大学で日本文化について学ぶ。卒業後、磐田市役所に入庁。

↓
23歳

市民とのつながりを深め、豊かな生活を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



かつお節は陰で食を支える立役者。
みんなの家庭の食卓を支える礎に。



なるためには

- 必要資格 / フォークリフト、ホイスト、玉掛け
- 主な進路 / 高校で海洋環境について学ぶ→高校卒業→水産加工品の製造販売をおこなう企業に就職→荷造り工程を担当

加藤勇人さん(1998年生まれ)

焼津水産高校出身

株式会社柳屋本店

焼津市東小川2-1-10
<https://www.yanagiya.co.jp/>

「普通科の授業ではなく、変わった勉強ができる場所を探して焼津水産高校に進学しました。魚を調理したり、釣りに行ったり水産高校ならではの授業は楽しかったですね。僕は海洋科学科の開発類型だったのですが、海洋環境やダイビング技術を中心で学びました。2年生のときに和歌山県の串本へ行って、1週間かけて実習船に乗船してダイビングをしたことが印象に残っています。海に潜って、生き息する魚や海藻の違い、珊瑚礁などを見て海の生態系を学びました」

【就職先について教えてください。】
「就職先は、かつお節など水産加工品の製造販売をおこなう柳屋本店を選びました。かつお節はメイン食材ではありませんが、陰で食を支える立役者。僕もみんなの家庭の食卓を支える礎になりたいと思い、柳屋本店に就職しました」

—仕事について

「工場の中には4つの製造工程があり、鰯の余分な部分を切り落としたり茹でたりする『生切り』。茹でられた鰯を製品との形にする『成形』。成形されたものを乾燥させるための建物(急造庫)に入れて水分を飛ばし、煙で燻して香り付けをする『急造庫』。最後に僕が担当している『品質チェック』をして段ボールに梱包して発送する『荷造り』に分かれています」

「急造庫からあがつてきた製品を『仕事内容を簡単に教えてください』

【心がけていることは?】
「心がけているのは、しっかりとコミュニケーションをとることです。朝出勤したら『おはようございます!』と挨拶をする、ミスをしたら『すみませんでした』を言う。専門知識や技術以前の人としての部分ですね。あとは安全の意識をもつて作業することと衛生面を気をつけることも心がけています」

—やりがい

「友達の家へ遊びに行つたときなどふいに僕たちが作っている商品が使われていたときややりがいを感じます。『これ使いやすいよ』『食卓を支えてもらっているよ』などの感想を言ってもらえることもあるのでうれしいです。感謝の言葉がなによりのやりがい。各家庭を支えら

れる工程で、乾燥不良がないか、異物が入っていないか、水分や菌が検出されないかを検査者が確認します。その後、金属探知機に流して、問題がなければ袋詰めをします。それを倉庫に保管し、食品メーカーなどに出荷します」

【ありがとうございました】
「作業でフォークリフトと玉掛け、ホイストを使うことが多いので、資格があれば便利だと思います。あとは、やる気があれば誰でも働くことができます。いつでも元気な挨拶ができるなど、人間力の部分も重要です。高校時代の僕は、未来のことをまったく想像できていませんでした。みなさんには少し先の未来を見据えて生活してほしいです。いろいろなことに挑戦し、幅広い分野を勉強することで、本当に自分がやりたいことが何なのかが少しづつ明確になっていくと思いますよ」



—学生時代

「普通科の授業ではなく、変わった勉強ができる場所を探して焼津水産高校に進学しました。魚を調理したり、釣りに行ったり水産高校ならではの授業は楽しかったですね。僕は海洋科学科の開発類型だったのですが、海洋環境やダイビング技術を中心で学びました。2年生のときに和歌山県の串本へ行って、1週間かけて実習船に乗船してダイビングをしたことが印象に残っています。海に潜って、生き息する魚や海藻の違い、珊瑚礁などを見て海の生態系を学びました」

【就職先について教えてください。】
「就職先は、かつお節など水産加工品の製造販売をおこなう柳屋本店を選びました。かつお節はメイン食材ではありませんが、陰で食を支える立役者。僕もみんなの家庭の食卓を支える礎になりたいと思い、柳屋本店に就職しました」

—メツセージ



18歳 焼津水産高校に入学し、海洋環境やダイビング技術を中心に学ぶ。
↓
19歳 柳屋本店に就職。荷造り工程に配属される。
↓
25歳かつお節づくりを通して、各家庭の食卓を支える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



大切なのは挑戦する気持ち。
新しい環境に一歩を踏み出してください。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→総合物流サービスを展開する企業に就職→倉庫内マネージャー

大久保紗弥さん(2004年生まれ)

浜松商業高校 出身

株式会社ハマキヨウレックス

浜松市中央区寺脇町1701-1

<https://www.hamakyorex.co.jp/>

検定取得に励んだ高校生活でした。ワープロ部に入っていたこともあり、パソコン関係を中心簿記など様々な検定を取得しました。友達と教え合ったり、情報共有したりしながら一緒に目標を作つて頑張つた毎日が思い出に残っています。高校生活を通して新しいことに挑戦すること、みんなで目標に向かって努力することの大切さを学びました

就職先を選んだきっかけは?
「就職したいとは思っていたのですが、「この分野がやりたい!」という明確なものがなくて…。目標が定まつたのは3年の進路を考えるときです。きっかけはコロナ禍でネットショッピングが増えたこと。そこで荷物を届ける物流の仕事の大切さを実感しました。高校卒業後3PL(物流一括受託)を軸に総合物流サービスを提供するハマキヨウレックスに就職しました」

——仕事について

「入社後、社会人としての礼儀、挨拶から始まり挨拶で終わることを学びました。挨拶から人とコミュニケーションへつなげることで信頼関係を築くことができ、円滑にコミュニケーションを簡単におこなうようになりました」

——やりがい

「急な物量増になつて出荷数が増加することがありました。声かけをして人員応援をしてもらい、何とか完了したときは達成感がありましたね。いつどんなときでも自分の目標設定をして、日々それを達成することができると思います」



——学生時代

「検定取得に励んだ高校生活でした。ワープロ部に入っていたこともあり、パソコン関係を中心簿記など様々な検定を取得しました。友達と教え合ったり、情報共有したりしながら一緒に目標を作つて頑張つた毎日が思い出に残っています。高校生活を通して新しいことに挑戦すること、みんなで目標に向かって努力することの大切さを学びました」

就職先を選んだきっかけは?
「就職したいとは思っていたのですが、「この分野がやりたい!」という明確なものがなくして…。目標が定まつたのは3年の進路を考えるときです。きっかけはコロナ禍でネットショッピングが増えたこと。そこで荷物を届ける物流の仕事の大切さを実感しました。高校卒業後3PL(物流一括受託)を軸に総合物流サービスを提供するハマキヨウレックスに就職しました」

「小さなミスでも大きな問題へと発展することがあるので、一つひとつ作業を慎重におこなつて、さらに迅速な作業も心がけています。あとは、作業をするうえで現場改善も大切な仕事。レイアウト変更をしたりして、みんなが作業しやすい環境づくりをしています。気づいたことを忘れないように付箋にメモして見えるところに残し、間違いややすい作業を改善改善していくように意識しています」

——メッセージ
「エクセルなどのパソコンスキルを身につけておくと仕事で役立ちます。また業務幅を増やすために、私も取得しましたが会社の補助を利用してフォークリフトの免許の取得をめざしてもいいと思います。高校生活を振り返って、資格取得に挑戦してよかったです。大切には、とりあえずやってみるとよいと思います」



18歳 検定取得に励んだ高校生活。挑戦する気持ちを養う。
↓
19歳 総合物流サービスを展開するハマキヨウレックスに就職。
↓
20歳 物流の仕事を通じて、みなさんの生活を支える。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

様々なリソースを使って課題を解決し、地域を豊かにする。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→経済学を中心学ぶ→ガス会社に就職→営業本部に配属→経営戦略本部に配属

栗原佑汰 さん(1998年生まれ)

静岡高校 出身
静岡大学 人文社会科学部卒業

静岡ガス株式会社

静岡市駿河区八幡1-5-38
<https://www.shizuokagas.co.jp/>

「文武両道を掲げ、サッカーと勉強に取り組んだ高校3年間でした。進学校ということもあり、勉強にもかなりガッツを出して頑張りました。当時は将来のビジョンがまだ定まっていない状態。大学に進学してから考えようと思っていたので、幅広く社会について学べるように経済学を専攻しました」

大学時代について教えてください。

「静岡大学に進学し、マーケティングについて、企業の経済活動や経済活動向などを幅広く学びました。就職活動で軸にしたのは、納得して働ける事業、地元に貢献できる事業であることです。そのなかでインフラ事業に興味をもち、静岡ガスに就職しました」

――仕事について

「入社当初は、ガスの特徴、特性などだけでなく、静岡ガスの社員として恥ずかしくない社会常識なども勉強しました。研修後、私は家庭用の営業部門に配属されました。私たちの仕事は、お客様の生活の基盤を支えるもの。こちらの一方的な話をするよりも、お客様にどう寄り添えるかを軸に、いかにプラスαを届けられる提案をするかが大切だと當時の上司に教わりました」

方法があるので、どのよくなリソースが提供できるのかを考え、各所と連携して解決に導いていきます。もうひとつは、社内の営業部門のデジタルマーケティング、社内DXの推進です。どの仕事も根底にあるのは、「ご家庭に限らず、飲食店や工場などガスを使う様々な場所の生活は、安定して安全に届けられるよう仕事に取り組んでいます」

心がけていることは?

「仕事を楽しむことをモットーにしています。楽しいとおもしろいはまったく別物。最初は不安を感じたり、怖いと思う仕事でも、それをいきにいろいろな人を巻き込んで楽しめるかを意識しています」

仕事内容を簡単に教えてください。

「営業時代は、お客様が感じていなかった潜在的なニーズを引き出す行動ができたとき。プラスαの提案で感謝されたときにやりがいを感じました。今の業務では、様々な会社のリソースを使って事業を達成するところが多めです。地域を豊かにすることができたときに充実感を得られます。それがこの仕事の醍醐味ですね」

――学生時代

――メッセージ

「資格よりもコミュニケーション力が必要な仕事です。ただ学生のころに思っていたコミュニケーション力と、今必要だと感じているものは違う気がします。ただ人と話ができるだけなく、どう相手に思いを伝えるか、他人から聞いたことをいかに自分の言葉にできるかが大切です。いろんな人と交流するなかで培われると思いますよ。高校時代は、まず部活や勉強などの目標を立ててください。そのため必要なマイルストーンを自分で置くことができれば、いい未来が開かれると思いますよ!」



18歳 部活と勉強に励んだ高校3年間。卒業後、静岡大学に進学。

22歳 マーケティングや経済活動、経済動向について学ぶ。

25歳 地域課題を他社・行政との協業で解決していく。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





村松里紗 さん(1997年生まれ)

静岡北高校 出身

静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
国際エアライン科エアラインコース 卒業

株式会社フジドリームエアラインズ

静岡市清水区入船町11-1

<https://www.fujidream.co.jp/>

なるためには

●主な進路 / 高校卒業→航空関係の専門学校に進学→
航空会社に就職→客室乗務員

—学生時代

「テレビドラマの影響で小学生のときから客室乗務員に憧れをもっていました。サービスをしている姿や厳しい訓練を乗り越えていく姿がとても印象的だったことを覚えています。静岡北高校に進学したのも、系列校である静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校に進むことを見据えてのことです。高校では国際コミュニケーション科を選択し、航空業界で必須になる英語を中心に勉強しました」

「1年次から就職に向けた授業が多く、立居振る舞いや言葉づかい、笑顔などを学んだマナー教育が印象に残っています。ビジネス実務マナー検定、秘書検定などの資格も取得することができました。身に付いたマナーは今も役立っていて、おもてなしの気持ちから指先の伸ばし方まで意識して仕事に取り組んでいます。航空業界は企業によって、応募資格としてTOEICスコアの基準を設けているため、英文や英会話など語学の勉強にも力を入れました。掛けそなうなときもありましたが、同じ目標に向かって頑張る友人や熱く指導してくれる先生、家族の存在が支えになり、「絶対に夢を実現するぞ」という気持ちで就職活動に取り組みました」

—仕事について

「専門学校卒業後は、株式会社フジドリームエアラインズに就職しました。入社後の4ヶ月間で、仕事を

「お客様からの『ありがとうございます』の言葉がやりがいです。やるべきことや意識しています」

—やりがい

「毎日たくさんのお客様の感謝の声を聞いています。また、機内の安全を守るという責任の大きな仕事ですが、その分やりがいを感じています」



18歳

20歳

26歳

客室乗務員をめざし、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校に進学。

航空業界で必要なマナーと語学力を身につける。卒業後、FDAに就職。

お客様からの感謝の言葉やあたたかい声にやりがいを感じ、日々の仕事に取り組む。

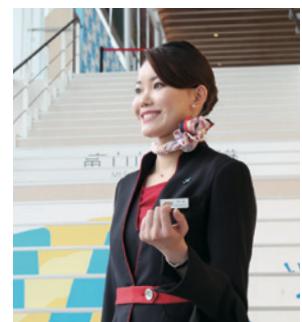


先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

—メッセージ

「専門学校では、社会人として必要なマナーーや知識を吸収することができます。社会に出たあとも、それが力になっていることを実感しています。また、厳しくも温かい指導をしてくださる熱心な先生が多く、1対1で何度も本番さながらの面接対策をしてくれたので心強かったです。高校時代は、勉強趣味、スポーツなんでもいいので色々なことに挑戦してみてください。自分の世界が広がると思いますし、高い壁を乗り越える為に必要なことを学べると思いますよ」



**イベントを通して
地元の魅力を再発見してもらう。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校でビジネスマナーやマーケティングについて学ぶ→高校卒業→イベント企画をおこなう企業に就職→イベントプランナー

鈴木海斗 さん (1997年生まれ)

静岡商業高校 出身

株式会社ドリームプラザ

静岡市清水区入船町13-15

<https://www.dream-plaza.co.jp/>

—学生時代

「商業高校だったので、簿記やビジネスマナー、マーケティングなどを学びました。企業とコラボしてオリジナルのパンを開発し、販売する授業が特に楽しかったです。高校での学びを通して社会に出る準備ができましたし、社会人としての心構えを学ぶことができたと思います。もともと人と話すことが好きだったこともあり、当時は営業職として働きたいという思いを漠然と抱いていました」

—仕事について

「派遣のアルバイトでイベントスタッフをしていましたが、今の上司から誘われてドリームプラザに入社しました。きっかけは、根本にあるイベントが好きという気持ち。人が集まつて楽しそうにしている様子を見て、イベントに携わりたいと思いました」

入社当初について教えてください。

「最初は、イベントの組み立ての打ち合わせに参加させてもらいました。ドリームプラザでは、年間200回ほど、自社企画のものや企業さんの持ち込み企画のイベントが開催されています。大きいイベントは、GWと秋に開催されるお菓子フェアです。約60店舗の出店者さんに参加してもらっていますが、自分でイベントに合うようなお菓子屋さんを調べて、出店の相談に1店舗ずつ行っています。そのうえで意識しているのは、ドリームプラザで実施する目的を考えること。海に面

して地元の魅力を再発見してもらうだけではなく、イベントを通じて地元の魅力を再発見してもらうこともあります」

「企画したイベントをただ楽しんでいませんが私たちの仕事です。イベント

のレイアウトを組んでいきます。

電気工事や販売什器の手配など、

会場設営の準備を取りまとめるこ

とも私たちの仕事です。当日は、イ

ベントがスムーズに開催されるよ

うに、お客様や出店者さんの対応を

します。イベントがないときでも、

常に『何かおもしろいことはないか

な?』と、アンテナを張るように意

識しています」

「イベント当日にお客様とふれあ

う機会が多いので、お客様から直接い

ただく声がやりがいにつながります。『このイベントがやっているか

ら来年もぜひやってよ』といった声

をかけてもらえるところがいいです」

—メッセージ



静岡お菓子フェアの様子

「自分が好きだからやりたいという思いだけでは、イベントは成功しません。そこに世間の需要があるのかが大切です。自分が好きというだけでなく、世間のみなさんが求めているものを敏感に捉えられる広い視野をもった人に向いてる仕事をしています。そのためにも、高校時代にいろいろな活動に参加したり経験をしたりして、社会と接する機会を増やしてください。そこで得たものが、将来の自分のためにきっとなるはずです」

お忙しいところ、ありがとうございます。



- | | |
|-----|--------------------------------|
| 18歳 | 簿記やビジネスマナー、マーケティングなどを学ぶ。 |
| ↓ | |
| 25歳 | 現在の上司に誘われ、ドリームプラザに入社。 |
| ↓ | |
| 26歳 | ドリームプラザの強みをいかし、様々なイベント企画をおこなう。 |

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



人生の選択肢はいくらでもあるし、
それぞれの正解がある。



河合舜平 さん(2000年生まれ)

天竜高校 出身

合同会社KALEIDO

静岡県浜松市

https://www.instagram.com/_shunpei_1118/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→旅をしながら、出会った人や景色をSNSで発信→映像制作、SNSマーケティング、地方創生の事業を展開する企業を設立

—学生時代

学生時代は、ずっと野球に打ち込んでいました。夜遅くまで練習することも珍しくなかったので、ヘットで帰宅する毎日。野球を通じていろいろな人と話す機会があり、そこでコミュニケーション力を培えています。また、仲間と同じ目標に向かって頑張ることは今も変わらず好きなので、そこに関しては昔からずっと変わっていないですね」

—仕事について

高校卒業後は一般企業に就職したのですが、コロナ禍で自分の人生について考える時間が増え、もつとほ

かの生き方もあるんじゃないかな」と思ふようになりました。それから、

いろんな人の人生を知りたくなり、仕事を辞め、カメラを持ってひとり

旅に出ました。それが20歳のときです。旅をするなかで出会った人たちとの思い出をインスタで発信して、いくうちに、気がつくと映像制作やSNSを通じて旅の魅力を伝え

ることが仕事になっていったんですね。そのなかで制作した映像が、日本国際観光映像祭優秀賞を受賞したことでも転機になったと思います

仕事内容を簡単に教えてください。

「仲間と一緒に立ち上げたKALEIDOでは、主に観光に特化した映像制作やSNSマーケティング、地方創生などの事業を展開しています。市町村や企業の方々に対して、どうした

多くの人が訪れてくれるのかを考え、その土地・場所にある魅力を発

信することで、自分たちの魅力を伝えることができます。自分が好きな映像や情報を発

—旅をする人を増やしていくたい
という想いをもって、日々の仕事に取り組んでいます。僕自身が旅をして

ながら仕事や生活をしていることもありますし、今はSNSを駆使す

れば海外で生活することもそんなに難しくないんです。自分自身も旅を通して180度、人生の価値観

や考え方方が変わったので、多くの人に旅の魅力を知ってほしいと思う

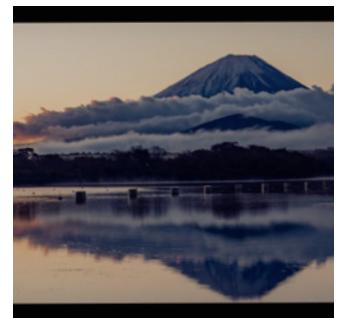
ようになりました。今後は、SNS

マーケティングのスクールを設立し、自分のようなライフスタイルを広げていくことが目標です」

—やりがい

「僕は仲間と何かを達成することに楽しさを感じるので、今集まつてくれたメンバーと一緒に旅をするのももちろん、いい映像を撮影して発

信することにやりがいを感じてい

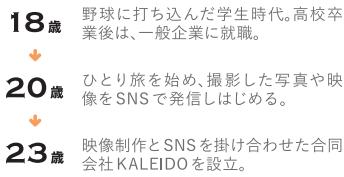


信していただけなのに、好きなことを好きな人と一緒に活動できています。すごく魅力的な働き方だと改めて感じています

—メッセージ

「高校生のみなさんは、生き方はひとつじゃないということを伝えたいです。僕はそこまで頭もよくないし、高校を卒業したら就職するしか道がないと思っていました。けど、今この立場になってみて、人それぞれの正解がある。だからこそ、しっかりと自分の人生を生きてほしいです」

ありがとうございました。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

